

主な輸出先国	香港、台湾等（2023年）	輸出実績	840百万円（2023年）
対象となる地域	三重県尾鷲市・北牟婁郡紀北町、愛媛県南宇和郡愛南町、高知県宿毛市、香川県東かがわ市		

輸出産地の概況

- ・ 自社でもブリを養殖するとともに、熊野灘地区他の養殖ブリの協力生産者とともに生産に取り組んでいる。
- ・ 輸出については、国内需要が頭打ちにある背景を踏まえ、2015年より直接輸出による輸出拡大に向けた取組を開始し、現在8業者の協力生産者とともに輸出に取り組んでいる。



現地の制度に対応したラベル作成



魚体選別の様子

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・ 海外では1年を通して大サイズのブリを希望されるため、通年出荷できるよう人工種苗の導入を強化。
- ・ 国により養殖する際に使用できる薬剤の基準が異なる為、可能な限り薬剤を使用せずに養殖を行う。また投薬した際はその履歴の提出。

アピールポイント

- ・ 食の安心と安全を保障する国際認証SQFを水産加工業として日本初取得。現在まで第9版に移行し認証を継続している。



現地ディストリビューターと海外展示会に出展



国内の展示会・商談会への参加